

# 『地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち奥州市』 を目指して

市は、総合計画基本構想と後期基本計画をことし3月に決定しました。この計画は、平成24年度から28年度までの5年間の市政運営の方向性を決める大事なもので、その内容をお知らせし、市民の皆さんとのパートナーシップにより、希望あるまちづくりに取り組めます。

19年度に策定した総合計画前期計画は、市町村合併の高揚感の中で決定し、社会資本整備や教育福祉政策の充実など、行政サービスの拡大路線を感じさせるものでした。市町村合併は本来、従前の行政サービスを維持しながら逼迫する財政の均衡を図るため、有利な合併特例措置を活用するためのものです。その利点を点だけにとらわれ、目的達成に向けて解決すべき課題を先送りすることもありました。合併時の約束である新市建設計画を実施しながらも、現状を精査し、現実的な路線に見直す必要があります。

計画は、今後5年間の市政運営の道標として、市の財政状況は厳しい

ですが、夢や希望を抱くことのできるまちづくりの方向を示すものです。

## 総合計画の構成

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3部で構成しています。

基本構想は、「まちづくりの基本的な考え方」と目標とする「めざすべき都市像」を、基本計画は、基本構想に掲げた目標を実現する手段となる政策や施策、その具体的な目標を、実施計画は、基本計画に設定した目標を実現する事務や事業について定めています。

基本構想と基本計画は、計画期間中の見直しは行いませんが、実施計画は予算と連動するため、社会情勢

などを考慮し、毎年度3年分の見直しを重ねながら進めます。

## 総合計画の特徴

### ○市民憲章の理念

まちづくりの基本的な考え方として、市民憲章を位置づけました。市民憲章には、長期的なまちづくりの理念を掲げており、市の目指す普遍的なまちづくりの方向として明確にしています。今回の計画により、今まで以上に市民憲章の理念の普及啓発を進めます。

### ○めざすべき都市像

めざすべき都市像に、4つのイメージを挙げています。右図に示すように、4つは並列ではありません。「協働のまち」を、そのほかの3つの都市像を構築するための下支え、根幹的な役割を果たす手段としています。協働がこれからのまちづくり

に重要な政策視点であり、市民とのパートナーシップの構築に、大きな期待を寄せています。

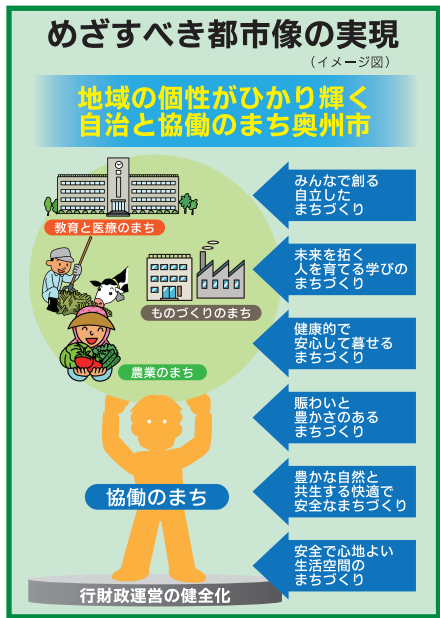
### ○行財政運営の健全化

まちづくりを推進するために、行財政基盤を確固たるものとする「行財政運営の健全化」に不転の決意で取り組むこととしています。

総数としての人口減少、少子高齢化が避けられない状況ですが、市町村合併の恩恵を受けることができる期間も間もなく終了し、1自治体として自立しなければなりません。その中で、市の財政見通しをグラフで示したものが次ページ左上図になります。行財政改革の必要性は明らかであり、それを受けて実施計画を構築しています。

### ○未来への希望

希望あるまちづくりとして、次



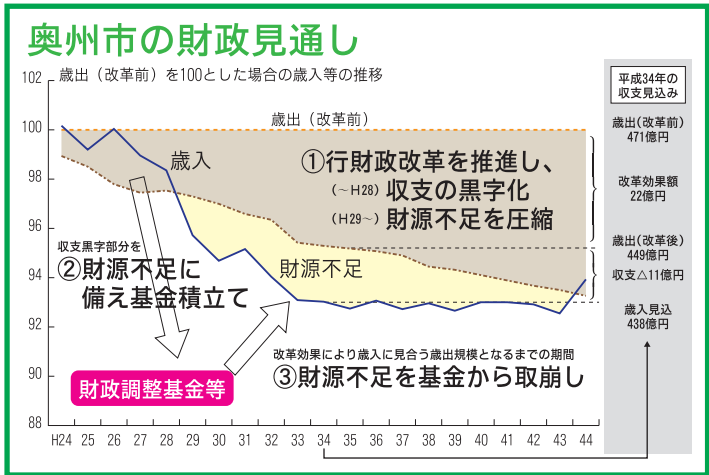
ページ左下図に表すとおり、広域連携プロジェクト「I・L・C東北誘致プロジェクト」と、市政発展のための3つのプロジェクトを掲げています。5年の計画期間中に大きな成果をあげることが難しいものですが、将来に向けて期待が持てるものです。

## めざすべき都市像のイメージ

### ○自立する地域自治

#### 「協働のまち」

奥州市自治基本条例や奥州市市参画条例の趣旨に基づき、市民がまちづくりに主体的に参画できる基盤、



機運づくりに取り組み、市民と行政の協働によるまちづくりを進めます。また、「地区センター構想」に基づき、地域住民が主体的にコミュニティ活動を進め、地域の自主性・自立性を発揮できる、活力のある地域コミュニティの確立を目指します。

### ○高度な水準をめざす

#### 「教育と医療のまち」

「学ぶことが奥州市の伝統であり未来である」という理念に基づき、市民一人一人が自ら学び、その英知を結集して市の発展を目指します。

特に国際リニアコライダーを中核施設とする、国際素粒子・エネルギー研究拠点の形成も見据えて教育環境を充実し、最先端産業を展望した次世代を担う人づくりを進めます。また、安心して市民が暮らすため、公立病院と民間病院との連携を強化します。医師確保による医療体制を確立し、高度医療の環境整備に向けた取り組みを進めます。

### ○地域が支え育てる

#### 「農業のまち」

農村部と都市部、農・商・工業の地域特性を生かしながら、生産者と消費者が協力しあい、農畜産物の直接販売、農工商連携による二次産品の販売と消費を目指します。地域内における農畜産物の循環により自給

率を高める「地域自給」を進め、基幹産業である農業の経営安定と就業支援を図ります。

### ○地域の人材と資源を活かす

#### 「ものづくりのまち」

活力あるまちを目指し、元氣あふれる有能で個性豊かな人材や企業を育てるまちづくりを進めます。

自動車産業の東北拠点化の動きや、県の復興重点事業に連動し、関連産業を含めた新規の設備投資や移転立地、起業などを支援します。さらに、地域開発による雇用の創出に重点的に取り組みます。

## 目標実現のための行動指針

今後の財政事情などを勘案して、社会資本整備などハード事業への投資を抑制しつつ、行政サービス水準の維持向上を目指すため、行政の覚悟を明らかにしています。

(1) 市役所を「ダウンサイジング」する

(2) 市役所は「変革する」「挑戦する」「集中する」「協働する」で行動する

(3) 再生のカギは民力である

市政発展のための戦略プロジェクト

- 子育て環境ナンバーワンプロジェクト**
  - 全ての子育て家庭への支援
  - 仕事と子育てが両立できる環境整備
  - 子どもの学びと育ちの支援
  - 安全に子育てできる環境整備
- おうしゅう農畜産ブランドオンリーワンプロジェクト**
  - 農畜産物ブランド力の強化
  - おうしゅう農業の6次産業化
  - 農畜産物販売におけるPR強化
- 興業振興プロジェクト**
  - 自動車関連企業や半導体関連などの誘致強化
  - 企業の新分野企業への支援
  - 事業補助や税制優遇による支援
  - 人材育成と企業への人材供給支援

広域連携プロジェクト

- I・L・C東北誘致プロジェクト**
  - 誘致に向けた情報収集
  - 誘致に向けた普及啓発活動
  - 誘致に向けた国への要望活動

※総合計画は現在、冊子で提供していません。市ホームページに電子ファイルで掲載しています。(URL: http://www.city.oshu.iwate.jp/)